

# 水上レンジャーの巻 琵琶湖河川レンジャー レポート

令和2年11月23日(月・祝) 野洲川河川清掃



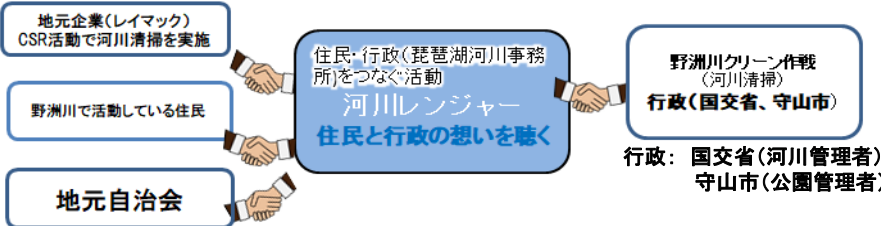
約40kgのゴミが集まりました

住民と行政が共に考え  
共に活動する川づくり

野洲川クリーン作戦

住民・企業・行政と一緒に河川清掃と体験型学習を実施

河川レンジャー  
活動支援室  
2021年1月発行  
VOL. 42



行政: 国交省(河川管理者)  
守山市(公園管理者)



「住民と行政が共に考え、共に活動する川づくり」をテーマに行政と企業や地域住民の方々が別々に実施している野洲川の河川清掃活動を今年も河川レンジャーが繋ぎました。



今年には新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で開催がややぶれましましたが、皆さんの協力で例年を超える規模での河川清掃活動ができました。

「参加された方が楽しくないと継続はない！」ということを一歩に考え、清掃後にも楽しみながら学べるプログラムの企画調整を行い、地域の方と企業や行政との連携を深める良いきっかけとなりました。

(活動内容)

第一部では、野洲川中州親水公園(あめんぼう)の下流の河川清掃を行いました。

地元の企業の株式会社レイマック、地元自治会、行政(琵琶湖河川事務所、守山市)あわせて約100名の方々に参加していただきました。また、今年は綾羽株式会社にも社内研修として参加していただきました。次回から新しい仲間としての参入になる事を期待しています。

第二部では、野洲川中州親水公園を中心に川に親しむイベントやブース展示を行いました。(裏面につづく)

活動拠点 (問い合わせ先)

水のめぐみ館 ウォーターステーション琵琶内 河川レンジャー活動支援室  
〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-2-2 TEL077-536-3520 FAX077-536-3530  
E-mail: r-manager@water-station.jp URL: http://www.water-station.jp/ranger  
FB: http://www.facebook.com/BiwakoRanger

フェイスブックで活動を広報しています!

琵琶湖河川レンジャーFacebookページ  
https://www.facebook.com/BiwakoRanger/



## 第2部 川に親しむイベント



防災かまどづくり体験

**防災かまどづくり**  
近年、全国で想定外の災害が起きています。災害時に避難所等で活躍する「防災かまどづくり」を体験してもらいました。  
綾羽株式会社の方々は、地域住民の皆さんと一緒に体験したことで、災害時に避難所地域住民の方々と力を合わせて非常炊き出し活動ができることを知っていただき、他の参加者の皆さんにも防災に関心を持って頂く機会となりました。

**Eボートを漕いで中州の探検**  
普段は行けない中州に、親子で参加された方と河川事務所の職員と一緒にEボートを漕いで上陸し、野洲川の現状を探索しました。  
ボートを漕ぐという体験だけでも大興奮の子供達でしたが、中州の上陸も未知の世界で、河川の土砂が堆積して島のようになったものという気付きや背丈以上に伸びた草木に驚きの声が上がりました。  
また、河川事務所の協力で、事前に中州の草木を迷路状に刈り取ってもらったことにより、中州の奥深くまで探検することができ、楽しく体験しながら学べるイベントとなりました。



中州の探検



Eボート



ライフジャケット試着体験

**樹木再繁茂対策**  
河川管理者と住民との連携・協働の取組みとして進めようとしている「樹木再繁茂対策」について参加者の皆さんに伝える事ができました。  
河川内の樹木は伐採した後、放置しておく数年で再繁茂してきます。樹木が繁茂すると川の流れが悪くなり川があふれ水害の原因になります。その対策として樹木が小さい内に除去する事を進めています。  
併せて伐採木の活用事例として、木工細工の展示を行い参加者に触れて頂きました。

**ライフジャケットの試着体験**  
河川での安全について考えてもらうきっかけとして、普段触れることの少ないライフジャケットの試着やスローロップの試着を体験して頂きました。  
野洲川の生き物を知ろう  
野洲川に棲む魚やエビ類、巻貝など、当日みられる生き物を現地でも捕獲し水槽



伐木を利用した木工細工の展示



樹木再繁茂対策の説明

## 根木山レンジャー



“野洲川の川守りをつなぐ”

私も、住民グループ「なかつ野洲川たんけん隊」のみなさんと一緒に、野洲川河川清掃に参加しましたー！

いつも川遊びをしている水際に漂着したゴミを拾って、分類し数えたところペットボトル34本、レジ袋90枚などがありました。また、Eボートは、みんなでオールでこぐのが盛り上がりました。川遊びの楽しさと、川をキレイにしようという気持ちになりました。

■今後も「皆から愛される野洲川」を目指して、行政と住民の橋渡し役として河川レンジャー活動を進めていきます。

**参加者の感想**  
参加者の皆さんからは「清掃の参加人数が想像したよりも多く、地域の関心が高い事がよくわかった」「Eボートで普段は行けない中州に上陸できておもしろかった」「子供が参加するイベントがありよかった」「現地をみて樹木の再繁茂対策の必要性を強く感じたが、継続して対策を続けていかなければならないため問題があり、難しさがある事が理解できた」「この活動が定着してきたので来年以降も続けて欲しい」等の感想を頂き、皆さんのこの想いを行政へも伝えました。



野洲川の生き物に触れる

展示しました。寒い季節に入っていました。在来種のヨシノボリやカマツカ、外来種ではオオクチバスが捕れました。子供達も魚に触れることができて楽しそうでした。